日本の
ひなた
宮崎県

資料1

# 宮崎県の循環器病対策の推進について

宮崎県循環器病対策推進協議会

日時：令和8年10月14日（水）18:30～20:00
場所：宮崎県防災庁舎2階　プレスルーム

１．国の循環器病対策の動向について

２．第８次宮崎県医療計画のうち、
脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患
中間見直し骨子（案）について

３．循環器病人材育成事業費補助金について

４．総合支援センターの取組及び
啓発・予防の取組について

５．今後のスケジュールについて

# 第２期循環器病対策推進基本計画（令和５年３月28日閣議決定）　概要

**全体目標**　2040年までに３年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

**個別施策**　循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

**【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備**　循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

## １．循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

○　循環器病の発症予防及び重症化予防
○　子どもの頃からの国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
○　循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

## ２．保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
② 救急搬送体制の整備
③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
④ リハビリテーション等の取組
⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
⑥ 循環器病の緩和ケア
⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

## ３．循環器病の研究推進

○　循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
○　科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

## 循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

（１）関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
（２）他の疾患等に係る対策との連携
（３）感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
（４）都道府県による計画の策定
（５）必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
（６）基本計画の評価・見直し

**＜循環器病の特徴と対策＞**




出典：「第16回循環器病対策推進協議会」資料

# 第２期循環器病対策推進基本計画の中間評価の進め方

中間評価について、全体目標と個別施策について、以下のとおり分析・評価を進めることとする。
あわせて、都道府県の循環器病対策の進捗状況の公表、好事例の横展開を推進する。

## ①全体目標について

- 2040年に向けた健康寿命の延伸の進捗状況を評価（令和６年度に公表済）
- 2040年に向けた循環器病の男女別の年齢調整死亡率の減少の進捗状況を評価

## ②個別施策について

- **第８次医療計画の策定指針で定めている指標例を基**に、①循環器病の予防や正しい知識の普及啓発、②保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実、③循環器病の研究推進のそれぞれの項目において、**重点的に評価する指標（コア指標）**を選定し、メリハリを付けてわかりやすく分析・評価する。
- 各施策に関する関係課室・省庁等の取組状況の把握を行う。

## ③都道府県ごとの循環器病対策の進捗状況の測定・公表と好事例の横展開の推進

- 都道府県ごとの循環器病対策の進捗状況を評価するため、**都道府県ごとに評価可能な指標については、可能な限り測定・公表**をしているところ、今後、**都道府県の循環器病対策を見える化**しながら、地域の実情に応じたより良い取組の横展開を進める。

## 今後の進め方

- **コア指標については、中間評価前（令和７年度夏頃）の協議会で指標案を示し、議論を行うこととする。**
- その他、必要な検討課題（「脳卒中・心臓病等総合支援センター」のあり方等）について、個別に議論を行うこととする。

出典:「第16回循環器病対策推進協議会」資料

# 脳卒中に関する指標について

令和７年６月18日第14回循環器病対策推進協議会
資料２-２を元に作成

- 血圧に関する指標を採用する場合は、脳卒中に関する指標は全部で32指標となり、うちコア指標（色付）は11指標となる。

<table>
<tr><th></th><th>予防・啓発</th><th>救護</th><th>急性期</th><th>回復期</th><th>維持期・生活期</th><th>再発・重症化予防</th></tr>
<tr><td rowspan="8">ストラクチャー</td><td rowspan="8"></td><td rowspan="2">脳卒中疑い患者に対して主幹動脈閉塞を予測する６項目（*）の観察指標を利用している消防本部数</td><td>脳神経内科医師数・<br>脳神経外科医師数</td><td colspan="2">両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数</td><td>脳卒中患者の重篤化を予防するためのケアに従事している看護師数</td></tr>
<tr><td rowspan="4">脳卒中の専用病室を有する<br>病院数・病床数</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td>歯周病専門医が在籍する<br>医療機関数</td></tr>
<tr><td rowspan="3">脳梗塞に対するt-PAによる<br>血栓溶解療法の実施可能な<br>医療機関数</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">脳梗塞に対する血栓回収療法の<br>実施可能な医療機関数</td></tr>
<tr><td rowspan="2">脳卒中の相談窓口を設置している急性期脳卒中診療が常時可能な<br>医療機関数</td></tr>
<tr><td colspan="3">理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のそれぞれの人数</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">リハビリテーション科医師数</td></tr>
<tr><td colspan="3">脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数</td></tr>
<tr><td rowspan="6">プロセス</td><td>喫煙率</td><td rowspan="6">脳血管疾患により<br>救急搬送された患者数</td><td>脳梗塞に対するt-PAによる<br>血栓溶解療法の実施件数</td><td colspan="2">脳卒中患者に対する療養・就労両立支援の実施件数</td><td>脳卒中による入院と同月に摂食機能療法を実施された患者数</td></tr>
<tr><td>特定健康診査の実施率</td><td>脳梗塞に対する血栓回収療法の<br>実施件数</td><td rowspan="3"></td><td>脳卒中患者における<br>介護連携指導の実施件数</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>特定保健指導の実施率</td><td>くも膜下出血に対する脳動脈瘤<br>クリッピング術の実施件数</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>高血圧性疾患患者の<br>年齢調整外来受療率</td><td>くも膜下出血に対する脳動脈瘤<br>コイル塞栓術の実施件数</td></tr>
<tr><td>脂質異常症患者の<br>年齢調整外来受療率</td><td colspan="2">脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数</td></tr>
<tr><td>特定健診受診者の<br>収縮期血圧130mmHg以上の割合および拡張期血圧80mmHg以上の割合</td><td colspan="2">脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アウトカム</td><td rowspan="2"></td><td>救急要請（覚知）から医療機関への<br>収容までに要した平均時間</td><td>退院患者平均在院日数</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">在宅等生活の場に復帰した患者の割合</td></tr>
<tr><td colspan="5">脳血管疾患の年齢調整死亡率</td></tr>
</table>

（*）脈不整、共同偏視、半側空間無視（指４本法）、失語（眼鏡／時計の呼称）、顔面麻痺、上肢麻痺　の６項目

出典：「第16回循環器病対策推進協議会」資料

# 心血管疾患に関する指標について

令和７年６月18日第14回循環器病対策推進協議会
資料２-２を元に作成

- 血圧に関する指標を採用する場合は、心血管疾患に関する指標は全部で29指標となり、うちコア指標（色付）は８指標となる。

<table>
<tr><th></th><th>予防・啓発</th><th>救護</th><th>急性期</th><th>回復期</th><th>慢性期</th><th>再発・重症化予防</th></tr>
<tr><td rowspan="4">ストラクチャー</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td>循環器内科医師数・<br>心臓血管外科医師数</td><td colspan="2">両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数</td><td>慢性心不全の再発を予防するためのケアに従事している看護師数</td></tr>
<tr><td>心臓内科系集中治療室（CCU）<br>を有する医療機関数・病床数</td><td colspan="2">心不全緩和ケアトレーニングコース受講者数</td><td>歯周病専門医が在籍する<br>医療機関数</td></tr>
<tr><td>心臓血管外科手術が実施可能な<br>医療機関数</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">心大血管リハビリテーション料届出医療機関数</td></tr>
<tr><td rowspan="7">プロセス</td><td>喫煙率</td><td>心肺機能停止傷病者全搬送<br>人員のうち、一般市民による<br>除細動の実施件数</td><td>急性心筋梗塞患者に対する<br>PCI実施率</td><td colspan="2">心血管疾患に対する療養・就労両立支援の実施件数</td><td></td></tr>
<tr><td>特定健康診査の実施率</td><td>虚血性心疾患及び大動脈疾患により<br>救急搬送された患者数</td><td>PCIを施行された急性心筋梗塞<br>患者数のうち、90分以内の<br>冠動脈再開通割合</td><td></td><td>心血管疾患における<br>介護連携指導の実施件数</td><td></td></tr>
<tr><td>特定保健指導の実施率</td><td rowspan="5"></td><td>虚血性心疾患に対する<br>心血管外科手術件数</td><td colspan="3">心血管疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数</td></tr>
<tr><td>高血圧性疾患患者の<br>年齢調整外来受療率</td><td>大動脈疾患患者に対する<br>手術件数</td><td></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>脂質異常症患者の<br>年齢調整外来受療率</td><td colspan="2">入院心血管リハビリテーションの実施件数</td></tr>
<tr><td>特定健診受診者の<br>収縮期血圧130mmHg以上の割合およ<br>び拡張期血圧80mmHg以上の割合</td><td></td><td colspan="3">外来心血管リハビリテーションの実施件数</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アウトカム</td><td rowspan="2"></td><td>救急要請（覚知）から<br>救急医療機関への搬送までに<br>要した平均時間</td><td colspan="2">虚血性心疾患及び心血管疾患の退院患者平均在院日数</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患及び大動脈疾患患者の割合</td></tr>
<tr><td colspan="6">虚血性心疾患、心不全、大動脈疾患及び心血管疾患の年齢調整死亡率</td></tr>
</table>

出典:「第16回循環器病対策推進協議会」資料

# 第２期循環器病対策推進協議会の検討スケジュール（案）

- 本日の骨子（案）の議論を踏まえて、令和８年夏以降に中間評価のとりまとめの議論を進めたい。

| | 令和７年６月18日 | 令和７年10月17日 | 令和８年４月24日 | 令和８年夏以降 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 協議会 | **第14回**<br>○第２期循環器病対策推進基本計画の中間評価の進め方について<br>○コア指標の選定について | **第15回**<br>○コア指標の選定および今後の中間評価の進め方について<br>○脳卒中・心臓病等総合支援センターの在り方について<br>等 | **第16回**<br>○第２期循環器病対策推進基本計画の中間評価報告書（案）<br>○循環器病対策総合推進事業について（国立循環器病研究センターより）<br>等 | **第17回**<br>○第２期循環器病対策推進基本計画の中間評価のとりまとめ<br>等 | 中間評価報告書及び概要　公表 |
| 総合支援委員会 | | **第７回（令和７年９月4日）**<br>・モデル事業の実績報告<br>・整備指針の策定方針（案） 等 | | | |

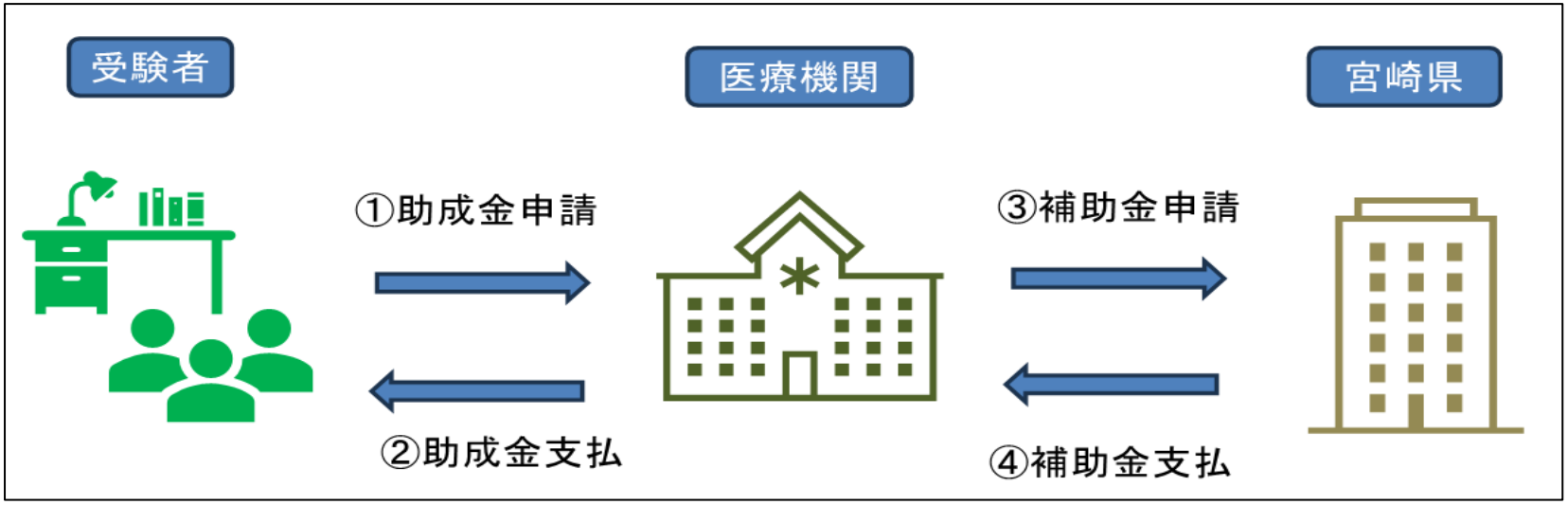
出典:「第16回循環器病対策推進協議会」資料

# 第8次宮崎県医療計画のうち、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患中間見直し骨子（案）について

## 【施策の方向（抜粋）】 ※資料2をご参照ください。

| 区分 | 脳卒中 | 心筋梗塞等の心血管疾患 |
|---|---|---|
| ①発症予防の推進 | ・望ましい習慣の定着<br>・普及啓発・健診対策<br>・総合支援センターとの連携 | 同左 |
| ②円滑な救急搬送 | ・症状や早期受診の周知啓発<br>・消防機関等との連携や救急隊員の教育 | ・AED・心肺蘇生法の普及促進<br>・ドクターヘリ、モービルCCU等の活用 |
| ③医療提供体制の充実 | ・PSC施設との連携<br>・ICTを活用した遠隔診療支援<br>・口腔ケアや他職種と連携した摂食・嚥下リハの促進 | ・医療機関の機能分化・連携の促進<br>・心不全・心リハ指導士の確保・育成 |
| ④在宅療養が可能な体制づくり | ・医療・介護従事者間の連携強化<br>・かかりつけ医・他職種在宅支援チームの構築 | ・緩和ケア等に対応できる在宅人材確保<br>・総合支援センターによる相談支援 |

# 循環器病人材育成事業費補助金について




令和６年度～開始

県内の心血管疾患に関する医療提供体制の充実のため、心不全療養指導士または心臓リハビリテーション指導士の養成のための経費を負担する医療機関への補助を通じ、心血管疾患に携わる医療従事者への人材育成の支援を行う。

# 循環器病人材育成事業費補助金について

## 心臓リハビリテーション指導士における事業スキーム

特定非営利活動法人
日本心臓リハビリテーション学会

受験者

医療機関

宮崎県



①助成金申請

②助成金支払



③補助金申請

④補助金支払



補助対象経費：①資格の取得に際し助成した受講料、審査料及び資料代
②資格の取得に際し助成した旅費
補助率：2分の1以内（ただし一人当たりの上限額は、以下のとおりとする。）
① 12,500円
② 37,500円

# 循環器病人材育成事業費補助金について

## 心不全療養指導士における事業スキーム

一般社団法人
日本循環器学会
The Japanese Circulation Society.

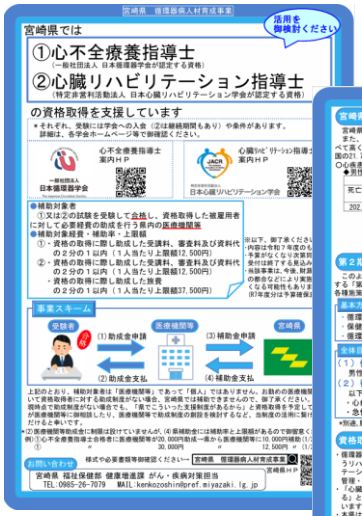
受験者　　医療機関　　宮崎県

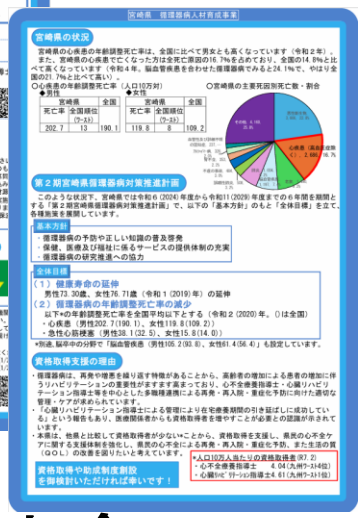



補助対象経費：資格の取得に際し助成した受講料、審査料及び資料代
補助率：2分の1以内（ただし一人当たりの上限額は12,500円）

# 循環器病人材育成事業費補助金について

## 事業の周知（令和7年度）


宮崎県では
①心不全療養指導士
②心臓リハビリテーション指導士
の資格取得を支援しています


宮崎県の状況
第２期宮崎県循環器病対策推進計画

○県ホームページでの周知

○チラシ作成、

医療機関及び関連団体への再周知

⇒循環器科医療機関（159箇所）

県看護協会、県理学療法士会、県作業療法士会、

県栄養士会、県薬剤師会宛　　に送付

**申請実績**：

R6実績3件、R7実績0件と執行が低迷。

**課題**：

現行の制度では、「院内に助成制度がある医療機関等」という要件があり、助成制度のない医療機関等に所属する受験者は申請できない。

# 循環器病人材育成事業費補助金について

## 事業スキーム変更の検討（令和9年度～）

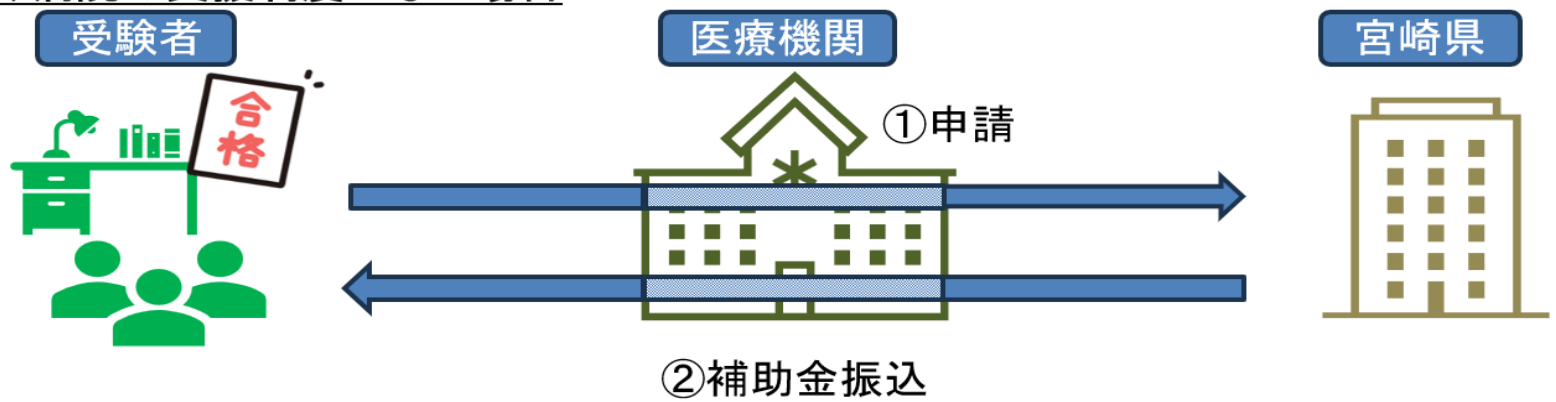
### 事業スキーム（案）

※（1）（2）いずれの場合も県からの
補助上限額・補助率（1/2）は同額

（1）病院の支援制度がある場合




（2）病院の支援制度がない場合

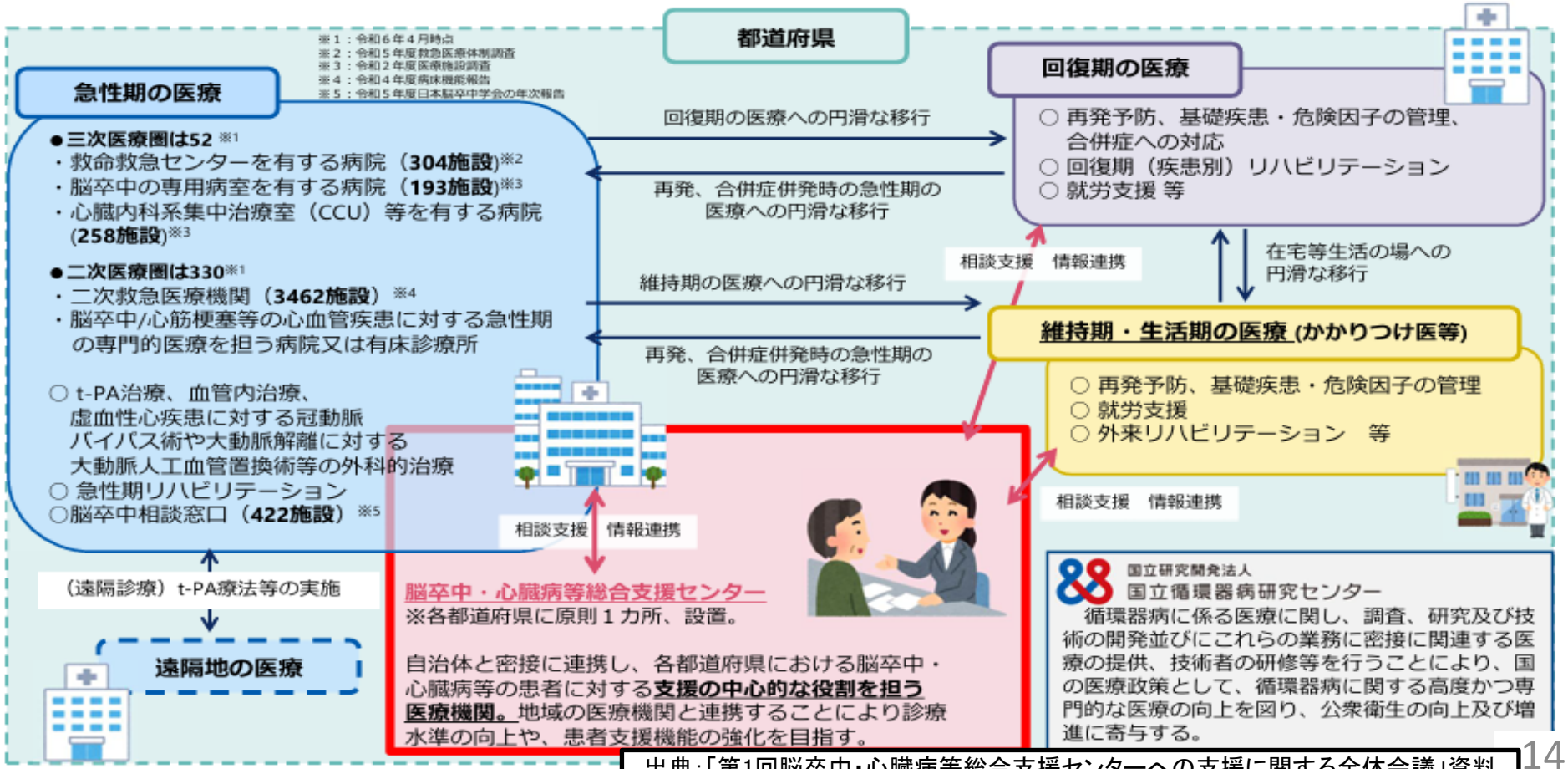


# 総合支援センターの取組及び普及啓発について

令和６年12月12日第13回循環器病対策推進協議会 資料１より

## 循環器病の医療提供体制イメージ

- 循環器病は、急性期突然死かつ、介護が必要となる主な原因であり、各都道府県においては医療計画（循環器病対策推進計画）に基づき、急性期から維持期・生活期まで一貫した診療提供体制を整備している。




出典：「第1回脳卒中・心臓病等総合支援センターへの支援に関する全体会議」資料

# 総合支援センターの取組及び普及啓発について

## （2）循環器病に係る医療提供・相談支援体制の構築・推進に係る事業
## 脳卒中・心臓病等総合支援センターの整備指針（案）作成のポイント

● これまでの「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」の取組等を踏まえ、以下のとおり指針（案）を取りまとめた。

| | ①普及啓発 | ②医療連携体制の構築 | ③人材育成 | ④相談支援 |
|---|---|---|---|---|
| **脳卒中・心臓病等総合支援センター（医療機関）** | □ 地域住民を対象とした循環器病の発症予防・重症化予防・再発予防、治療、後遺症等に関する情報提供・普及啓発の実施。 | □ 都道府県と連携し、急性期から回復期及び維持期・生活期に携わる医療機関間のネットワーク会議の開催・運営。<br>□ 職種間連携を強化するためのネットワークや会議体の開催・運営。 | □ 地域の循環器病患者に関わる医療・介護・福祉従事者に対するの研修会等の開催。 | □ 県内の医療機関と共に、多職種による循環器病患者及び家族に対する相談支援（治療と仕事の両立支援を含む）等の実施とその知見の共有。<br>□ 循環器病の後遺症を有する者に対する必要な福祉サービス等に関する適切な情報提供。 |
| | ● 都道府県全体の循環器病対策における中心的な役割を担う医療機関として、都道府県と連携しながら、県内の循環器病に関する医療機関、患者団体等との連携体制を構築する。 | | | |
| **都道府県** | □ 循環器病の主要な危険因子である生活習慣病を予防及び早期発見のための健診受診や保健指導等の普及や取組の推進。<br>□ 循環器病における適切な相談支援の内容や体制、必要な情報提供、普及啓発。 | □ 循環器病に関する急性期・回復期・慢性期病院間の連携を円滑にするための取組の検討。<br>□ 多職種が連携し、質の高い循環器病の診療体制の構築。 | □ 国や総合支援センター等と協力し、都道府県の循環器病に関する専門的な医療従事者の人材育成や適正配置の推進。<br>□ 遠隔医療や情報の連携を進め、医療者の業務環境の改善や業務の効率化等の検討。 | □ 医療機関や地域包括支援センターなどの既存の取組との連携・協力による、個別支援の提供体制の検討。<br>□ 循環器病患者の障害特性に応じた生活支援や就労支援等の体制構築の調整・検討。 |
| | ● 総合支援センターが安定的に運営できるよう、脳卒中・心臓病等特別対策費等を活用して必要な予算を確保し、都道府県の循環器病対策推進協議会とも連携し、都道府県の循環器病対策を推進する。 | | | |
| **国・国立循環器病研究センター（関係学会と連携）** | □ 循環器病に関する様々な情報を収集し、科学的根拠に基づく情報を国民に提供。<br>□ 国民に対する循環器病の前兆及び症状、発症時の対処法並びに早期受診の重要性等に関する知識の啓発。 | □ 全国で共通の水準の医療を提供することができるよう、地域の実情を踏まえ、適宜関係機関と知見を共有するなど、連携構築を支援する取組の実施。 | □ 総合支援センターに関わる医療従事者等に対する人材の養成や医療従事者等に向けたコンテンツの作成・検討。<br>□ 各総合支援センターの課題の抽出など調査や研究等（情報収集や分析・評価）の実施。 | □ 包括的な患者の相談支援に関する取組例の収集及びその全国展開の推進。<br>□ 各総合支援センターの課題の抽出など調査や研究等（情報収集や分析・評価）の実施。 |
| | ● 総合支援センターや都道府県が役割を最大限に発揮できるよう、最新の科学的な知見を収集するとともに、各都道府県の取組を評価・分析し、好事例の横展開等を通じて、国の循環器病対策を推進する。 | | | |

出典：「第1回脳卒中・心臓病等総合支援センターへの支援に関する全体会議」資料

# 総合支援センターの取組及び普及啓発について

## 【総合支援センターの主な実績（R7）】

- 相談受付・対応（延1,006件）
- 情報提供、普及啓発活動

  テレビ出演、県民公開講座開催等
- 研修会・講演会への参加
- 学会等への参加
- 資材等の発行

  HP運営、脳卒中手帳、心不全手帳
- 他職種連携会議・調査等
- 人材育成


患者さん本人やそのご家族の皆さま、県民の皆さま　相談無料

脳卒中・心臓病の予防、早期発見、急性期治療、慢性期などのお困りごとは、
宮崎県　脳卒中・心臓病等総合支援センター
（宮崎大学医学部附属病院内）　へご相談ください

脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

2018年12月に脳卒中・循環器病対策基本法が成立し、その後、国のモデル事業として「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が全国で公募されることになりました。
宮崎県では2024年3月に厚生労働省より支援センター事業が採択・承認され、2024年10月に宮崎大学医学部附属病院内に設置、本格的に事業を開始しています。
県全体の循環器病対策における中心的な医療機関として、県と連携しながら、普及啓発、医療連携体制の構築、人材育成、相談支援　などに取り組んでいます。

相談支援体制

医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーション、管理栄養士、事務職員など多職種が連携・協力し、慣れ親しんだ環境下で自分らしい生活を継続できる「地域包括ケアシステム」の実現に向けて支援を行います。

・困りごとや悩みごとについて
・再発防止のための生活習慣について
・退院後の療養生活で気になること
・脳卒中手帳や心不全手帳の案内や提供
・市民公開講座や研修の開催案内

など、気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

宮崎県脳卒中・心臓病総合支援センター地域包括ケアシステム

地域の病院　かかりつけ医　宮崎県　宮崎県循環器病対策推進協議会　連携　宮崎大学医学部附属病院　地域住民　患者・家族　ハローワーク　相談窓口　脳卒中・心臓病等総合支援センター

相談・対応事例

●相談
心臓の病気で通院しているが、検査の数値が何を意味しているのか知りたい。
●対応
心臓病担当のスタッフが検査の数値について説明し、「心配事が減ってよかった」とのことでした。

●相談
家族が脳卒中で入退院を繰り返している。（相談者が）食事を作っているが、正しい調理内容なのか分からないので相談したい。
●対応
現在の食事内容についてスタッフが相談に応じ、相談者の希望で脳卒中手帳を配付しました。

相談方法

■電話　9:00～16:00（木、日及び祝日を除く）
０９８５－８５－１９０９

■メール
miyazakiscvsc1@med.miyazaki-u.ac.jp
＊返事、対応には数日間かかる場合があります。

■直接窓口　9:00～16:00（木、日及び祝日を除く）
宮崎大学医学部附属病院　患者支援センター内
＊「直接窓口」は、宮大病院通院または入院患者及びその家族に限ります。

支援センター　ホームページ

・病態のこと
・脳卒中・心臓病等をより知るための動画
・医療費や療養生活について
・療養と就業サポートについて
・役立つ記事・リンク

などまとめられています。是非ご覧ください。

宮崎県　脳卒中・心臓病等総合支援センター

で検索。
または、二次元コードより　→

⇒更なるセンターの周知強化のためチラシ作成・配布

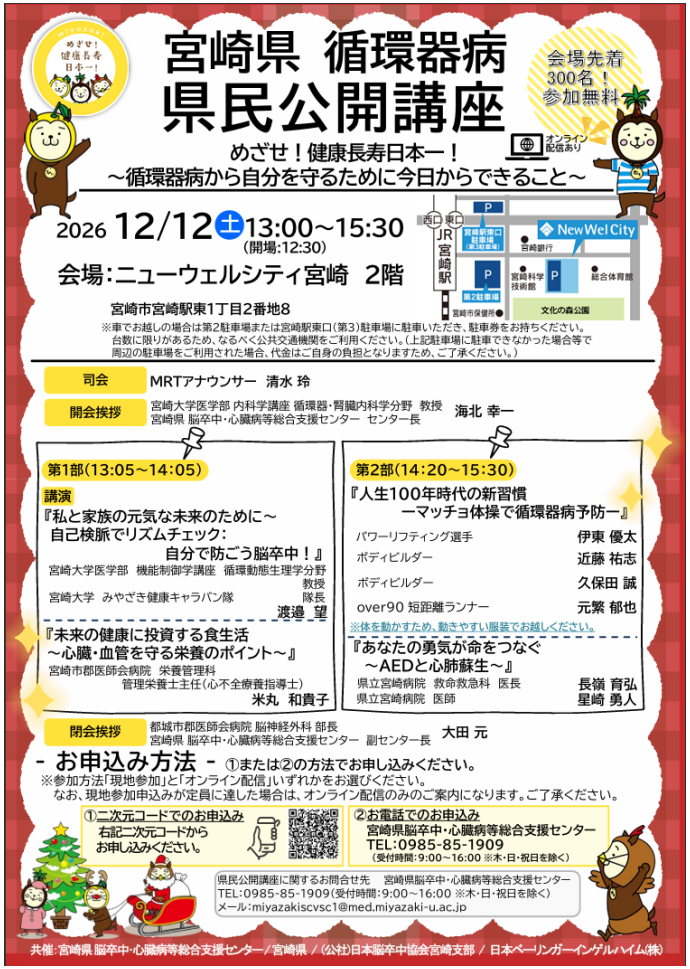
# 総合支援センターの取組及び普及啓発について

## 【令和8年度の取組予定】

### 宮崎県循環器病

# 県民公開講座

日時：令和8年12月12日（土）
13：00～15：30
場所：ニューウェルシティ宮崎
会場定員：300名（オンライン視聴可）
※参考：R7年度参加者233名
（会場171名、オンライン参加者62名）



# 総合支援センターの取組及び普及啓発について

## 【令和8年度の取組予定】

8月10日ハートの日

10月29日世界脳卒中デー

3月9日脈の日





〇県ホームページにて周知
〇県庁本館ライトアップ
〇県政けいじばん（新聞5社）
〇県政テレビ番組
　おしえて！みやざき（MRT）
〇県政ラジオ番組
　Todayみやざき（FM宮崎）
〇宮崎県広報
　X、Twitter
〇健康増進課広報
　Instagram

# 今後のスケジュールについて

